

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 24 年 8 月 16 日 (2012.8.16)

【公表番号】特表 2011-526658 (P2011-526658A)

【公表日】平成 23 年 10 月 13 日 (2011.10.13)

【年通号数】公開・登録公報 2011-041

【出願番号】特願 2011-515428 (P2011-515428)

【国際特許分類】

D 2 1 H 17/69 (2006.01)

【F I】

D 2 1 H 17/69

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 24 年 6 月 28 日 (2012.6.28)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも部分的にアニオン性ラテックスで被覆されている微粒状填料の水性スラリーにおいて、このスラリーは、少なくとも 1 つのリン酸基含有モノマーを重合導入して含有する少なくとも 1 つのアニオン性ラテックスで微粒状填料の水性スラリーを処理することによって得られたものであり、この場合

モノエチレン系不飽和 $C_3 \sim C_8$ カルボン酸を場合により モノアルコキシル化された、一般式 (I)

$$H - [X]_n - P(O)(OH)_2 \quad (I)$$

〔式中、

X は、直鎖状または分枝鎖状 $C_2 \sim C_6$ アルキレンオキシド単位を表わし、n は、0 ~ 20 の整数を表わす〕で示されるリン酸とエステル化することによって得られるリン酸基含有モノマーを使用することを特徴とする、微粒状填料の水性スラリー。

【請求項 2】

X が、直鎖状または分枝鎖状 $C_2 \sim C_3$ アルキレンオキシド単位であり、および n が、5 ~ 15 の整数である、式 (I) のモノアルコキシル化されたリン酸が使用されている、請求項 1 記載の水性スラリー。

【請求項 3】

プロピレンオキシドの 5 ~ 15 個の単位を有する式 (I) のモノアルコキシル化されたリン酸の混合物が使用されている、請求項 1 または 2 記載の水性スラリー。

【請求項 4】

モノエチレン系不飽和 $C_3 \sim C_8$ カルボン酸が、アクリル酸、メタクリル酸、ジメチルアクリル酸、エタクリル酸、マレイン酸、シトラコン酸、メチレンマロン酸、クロトン酸、フマル酸、メサコン酸、イタコン酸および / またはマレイン酸である、請求項 1 記載の水性スラリー。

【請求項 5】

モノエチレン系不飽和 $C_3 \sim C_8$ カルボン酸が、アクリル酸およびメタクリル酸である、請求項 4 記載の水性スラリー。

【請求項 6】

アニオン性ラテックスが、a) スチレンおよび / またはアクリルニトリルまたはメタク

リルニトリル、b) $C_1 \sim C_{10}$ アルコールのアクリル酸エステルおよび/またはメタクリル酸エステルおよび場合によってはc) アクリル酸、メタクリル酸、マレイン酸および/またはイタコン酸、およびd) X および n が前記の意味を有する式 (I) の場合によってはモノアルコキシ化された燐酸の(メタ)アクリル酸エステルからなる、請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項に記載の水性スラリー。

【請求項 7】

アニオン性ラテックスが、スチレン 2 ~ 25 質量%、アクリルニトリル 2 ~ 25 質量%、 $C_1 \sim C_4$ アルキルアクリレート 50 ~ 95 質量%、アクリル酸 0 ~ 5 質量% および X がプロピレンオキシド単位であり、および n が 5 ~ 15 の整数である式 (I) のモノアルコキシ化された燐酸の(メタ)アクリル酸エステル 0.1 ~ 5 質量% からなる、請求項 6 記載の水性スラリー。

【請求項 8】

当該水性スラリーが少なくとも 1 つの微粒状填料 1 ~ 70 質量% および少なくとも 1 つのアニオン性ラテックスを填料に対して 0.01 ~ 10 質量% 含有する、請求項 1 から 7 までのいずれか 1 項に記載の水性スラリー。

【請求項 9】

請求項 1 から 8 までのいずれか 1 項に記載の水性スラリーの製造法において、

少なくとも 1 つの微粒状填料の水性スラリーに、填料に対して少なくとも 1 つのアニオン性ラテックス 0.01 ~ 10 質量% を添加するか、または微粒状填料の水性スラリーを、アニオン性ラテックスの水性分散液中に導入し、これらの成分を、そのつど混合するか、または微粒状填料を固体でアニオン性ラテックスの水性分散液中に導入することを特徴とする、請求項 1 から 8 までのいずれか 1 項に記載の水性スラリーの製造法。

【請求項 10】

填料を含有する紙、填料を含有する厚紙または填料を含有するボール紙を紙料の脱水によって製造する際の紙料への添加剤としての、請求項 1 から 8 までのいずれか 1 項記載の水性スラリーの使用。